

RSウイルス感染症※とは？

※RSウイルスにより引き起こされる感染症

RS ウイルスは世界中に広く分布しており、生後 1 歳までに 50%以上が、2 歳までにほぼ 100% が RS ウイルスに感染します。

乳幼児における肺炎の約 50%、細気管支炎の 50～90%が RS ウイルス感染症によるとされています。症状は感冒様症状から下気道感染に至るまで様々ですが、特に生後 6 か月未満で感染すると重症化することが示されています。

妊婦さんが赤ちゃんのために接種する

令和6年5月31日
発売

RSウイルスワクチン、 当院でも開始しました！

RSウイルスワクチン「アブリスボ」とは？

生後数カ月の赤ちゃんの免疫機能は発達していないため、ワクチンを直接接種しても病原体に対する抗体が作られにくいとされています。そこで妊娠中のお母さんに接種することで母子免疫（お母さんの胎盤やへその緒を通じて抗体の一部を受け取る）の仕組みを利用して接種するワクチンです。

[対象] 妊娠30～34週

[価格] 35,000円(税込)

[接種回数] 1回

[予約方法] 当院で「アブリスボ®筋注用」の接種を希望される方はお電話にてご予約ください。

